

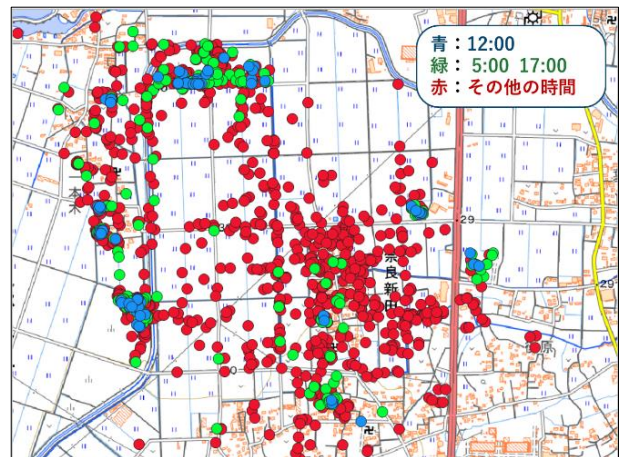
アライグマはどこにいる？どこで捕まえる？

県の鳥獣による農作物被害はアライグマが最も多くなっています。被害を防ぐためにはアライグマを効率的に捕獲して個体密度を減らすことが重要です。そこでアライグマに GPS 発信器を装着し、行動域を解析するとともに生息地点の現地調査を行いました。

GPS データからねぐらや移動ルート、活動していた場所を把握しました。効果的に箱わなを仕掛ける場所を評価するため、アライグマの行動域と環境要素を基にした捕獲地点評価基準を作成しました。また、捕獲場所の選定に参考となる生息痕跡・出没地点事例集を作成しました。



GPS 発信器を装着したアライグマ



GPS による位置情報（熊谷市）

環境要素		チェック (○)
痕跡	けもの道	
	足跡や爪痕	
	痕跡に○がついたら次に進む	
水環境	用水路	
	小川・小流	
	河川	
	湖沼・調節池	
水環境に○がついたら次に進む		

項目	チェック (○)
建屋	
廃屋・空き家	
畜舎・廃畜舎	
屋敷林のある建屋	
物置・納屋	
遊休地	
ヨシ・オギ・スキ群落	
雑草群落化した盛り土	
荒地・藪	
樹林地	
雑木林	
竹林	
河畔林	
耕地	
畑	
田	
その他	
産業廃棄物集積所	
廃工場・廃車集積場	
合計点(○の数)	20

※評価の前提として環境要素「痕跡」及び「水環境」のチェックがついたら次のチェック項目に進む

アライグマ捕獲地点評価基準



アライグマ生息痕跡・出没地点事例集



アライグマの捕獲地点選に欠かせない「痕跡」と「水環境」をチェックしてからそのほかの項目に進みます。実際にアライグマが出没していた環境を紹介する事例集も作成しました。農技研 HP で一般公開中です。